幼児だより　６月号

２０２３年６月１日発行

今月の環境認識のテーマは「交通」
グループごとに行った環境認識だけでなく、交通安全教室や5歳児は交通安全出発式にも参加し、交通や車について理解を深めました。
環境認識とは、身の回りの環境に興味・関心を持ち、そのことについて考え、感じ、知る機会が持てるようにテーマに関係のあるものを飾ったり、集まってゲーム形式で遊んで学んでいます。
テーマは他にも、「動物」「素材」「植物」「職業」などを予定しています。
以前、乗り物のチラシなどをお家から持ってきて頂きありがとうございました。
また、お声掛けしますので、その際はご協力をお願いします。

交通安全教室

交通安全出発式

交通安全にご協力お願いします

しっかりと手をあげて、信号を見ながら渡る姿がカッコイイ

プランターの土作りと野菜の苗植えをしました。
ナス・トマト・ピーマン
きゅうり・オクラを植えて
みんなで水やり！！！
毎日の水やりはお当番さんの仕事です。
野菜の成長が楽しみです。

名月姫公園

色んな公園に行くたびに
今まで自分の出来なかった
遊具にチャレンジしてどんどん出来る事が増えていく子どもたち★
たくさん体を動かして
遊ぶのって楽しいよね！
今月もたくさん散歩に
行こうと思っています。

県住公園

名月西公園

かずや列、色を計算しながら・・・

アキシモというおもちゃ。上から丸い球のようなものを落として、模様を作っていきます。いろいろな色があるので、色をきれいに並べたり、左右対称に並べたりする幼児にはぴったりのおもちゃです。

友だちが遊んでいるのを見て、自分もしたい気持ちになり、机の上に準備。選んだ模様は、お花。見本を見ながら、どこに球を入れるのか、いくつ入れるのか、何色を入れるのか、Gくんは、指で数えながら作っていきます。

　Gくんの集中力に驚かされました。なんと、この遊びに1時間弱も取り組んでいたのです。一度作っては、崩して、もう一度作って約1時間。周りの友だちの声とか、雑音とか、そんなことは気にすることもなく、アキシモあそびに一点集中!! 私は大変感心しました。そして、この遊びを今月の遊び環境に用意してよかったと思いました。
　Gくんは、数を数えながら、色を見ながら、列を見ながら、たくさん考えて遊びに取り組んでいます。この時間、たくさんのことを学んでいます。必ずそれは今後活かされます。このように、子どもたちが集中して遊べる環境、玩具を私たち大人は用意しなければなりません。（集中できるからと言っても、決して、YouTubeやゲームではないですよ。それらは、脳への刺激が強すぎ、集中力の低下、学業不振にもつながるとも言われています。）
　子どもたちの今の遊びの確保をしてあげられるのは私たち大人です。私たちは、子どもの興味・関心・発達を考えながら、室内外問わず、環境を整えることを意識していくことを疎かにしないようにしていきたいと思います。

やってみるわ

名月姫公園にある雲梯(うんてい)がついた遊具にくじらさんが挑戦！
「先生見ててなー」と言ってお猿のように進んでいく友だちの姿に刺激を受けたＲくん。
「ぼくもやってみるわ」と言って雲梯の１本目に手をかけるのでした。

実は運動があまり好きではないＲくん。
そんなＲくんから“やってみたい”の声が出てきたので保育士もじっと見守ります。
友だちから「がんばれー」と声援をもらいながらゆっくりゆっくり進んでいきます。
「ああぁ…」「うぅ…！」と漏れる声がＲくんの必死さを伝えてくれます。だってみんなと同じように最後まで行きたいんですもの。

Ｒくん↑

この表情！
必死です

そして頑張ったかいもあり無事にゴール！
嬉しさのあまり公園を走り回るＲくん(笑)
自分でも行けると思ってなかったようでびっくりしてました！

それから自信がついた Ｒ くんは何度も雲梯にやってきて遊んでいました。
そんな Ｒ くんに刺激を受けたのが後ろでぶら下がってるＨちゃん。
ぶら下がったはいいものの、なかなか前に進めません。
そんなＨちゃんに…

Ｒくんからアドバイスが！
「こうやって手をだすねん、こう！」と言ってます。
保育士からも伝えますがやっぱり最初の一歩が出せません。ぶら下がるＨちゃんにＲくんが声をかけます。
「わかるわかる。最初に出すのが怖いよな～。ぼくもそうやったわ」と笑顔で話すＲくん。この言葉かけがすごくＨちゃんの気持ちに共感していて素敵だなって思いました。
けっきょくこの日、Ｈ ちゃんが先に進むことはありませんでした。しかし帰り間際に「次、頑張る」と言っていたのです。
Ｒくんも「うん、そうやな」と優しく返していました。
こうして子どもたち同士、刺激を受け共感を得て成長していくんですね。

水やりの仕方

この日、当番だったＫくん！
Ｋくんは５月からの新入園児さんで
当番に当たるのは初めてでした。
水やりをする為にジョウロに水を入れると砂場に一直線！その様子を見ていたＳくんが「そこ野菜ないで！あっち！」と言い一緒にプランターまで行って水やりの仕方を教えてくれました。

どの野菜に水あげたい？

上手！
上手！

こっちにも水あげて

Ｋくんを思いやり、Ｋくんに水をあげたい野菜を選ばせてくれたり、水やりの仕方を褒めてくれたり、ジョウロの水が無くなると一緒に水道について行き、水を入れたジョウロを持つ前には「重いで」と声をかけたりしてくれていました。
同じ経験を共有することで言葉を交わす機会も多くなり、給食を横並びで食べたり、お茶を入れあったり名前を呼び合う姿も見られました。
今、世界で起きている様々な問題は、お互いの助け合いなくしては解決出来ないことばかりです。
それには、相互の理解力や調整力などが必要になってきます。
本能的な正義感や人に貢献したいという子どもたちの心を大切にすることで、こうした力が育まれるのではないかと思っています。

“くるくる”がすきだから

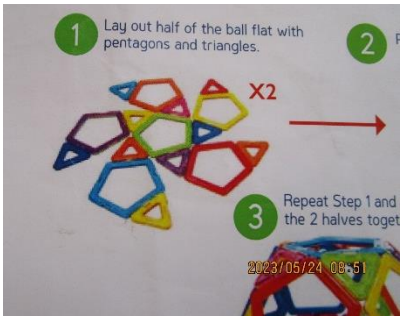
回るものがすきな Ｔ くん。様々な玩具や道具で羽根をイメージしながら“くるくる”を作り出すことを楽しんでいます。

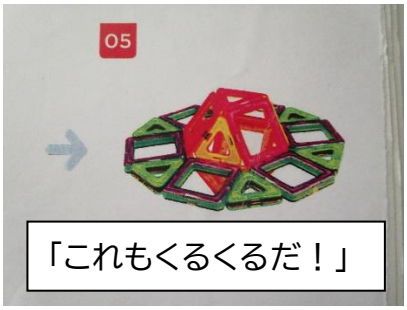
ニューブロック

パターン

画用紙とストロー

マグフォーマーを出した日、扇風機みたいな形を発見。
保育者が作ったのを見ながら真似して作った後、自分なりにも作ってみる姿がありました。





「これもくるくるだ！」

「さんかくとしかくと…」

「どうやるの？」と言っていましたが、作るたびに達成感と自信がついてきたのか、「これもつくりたい」と、難しいものにも挑戦したくなってきたようです。

「これもつくりたい！」

保「しかくはなんこ？」
T「1、2、3、4･･･」と数えたり、
「こっちはさんかく（つける）」とイメージやアレンジをしたりと、大好きな“くるくる”から遊びをふくらませ、学ぶ姿がありました。
また、周りで遊んでいた友達も Ｔ くんが作るものに興味を持ち、「くるくるできたね」「いいね」「これもつかう？」と、友達の好きなことを認めて素敵だなと思う姿が素敵なのでした。